

福島県のこどもの数（15歳未満人口）～こどもの日にちなんで～

《平成15年4月1日現在推計人口：福島県現住人口調査結果》

福島県企画調整部情報統計領域
生活統計グループ
TEL（直）024-521-7145
（代）024-521-1111 内線 2436

福島県のこどもの数は、323,734人、県人口の15.3%

平成15年4月1日現在の本県のこどもの数（15歳未満人口）は、323,734人で前年より6,303人減少した。男女別では、男子が165,866人、女子が157,868人で、男子が女子より7,998人多く、性比（女性100人に対する男性の数）は105.1となっている。

県人口に占めるこどもの数の割合は15.3%で、前年より0.3ポイント低下した。

年齢階級別にみると、5歳以下（未就学の乳幼児）は120,273人（県人口に占める割合5.7%）、6～11歳（小学生の年代）は131,366人（同6.2%）、12～14歳（中学生の年代）は72,095人（同3.4%）となっている。

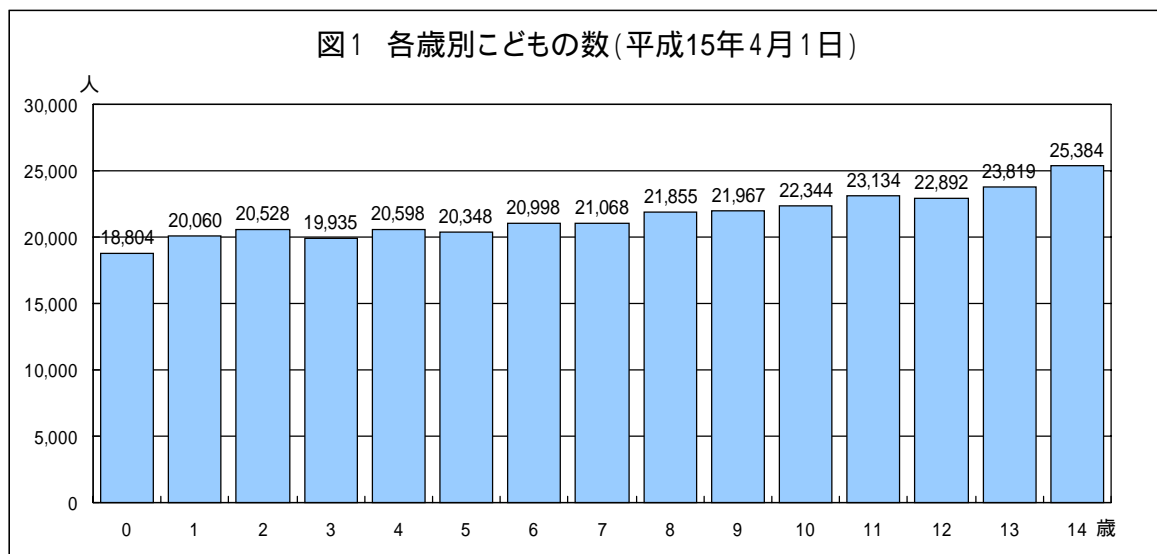
表1 こどもの数

(単位:人、%)

区 分	平成15年4月1日現在						平成14年4月1日現在	
	総人口	こどもの数(0～14歳)				総人口	こどもの数(0～14歳)	
		0～5歳	6～11歳	12～14歳				
人 口	計	2,111,866	323,734	120,273	131,366	72,095	2,117,551	330,037
	男	1,028,676	165,866	61,666	67,176	37,024	1,031,918	168,907
	女	1,083,190	157,868	58,607	64,190	35,071	1,085,633	161,130
こどもの割合	-	15.3	5.7	6.2	3.4	-	15.6	

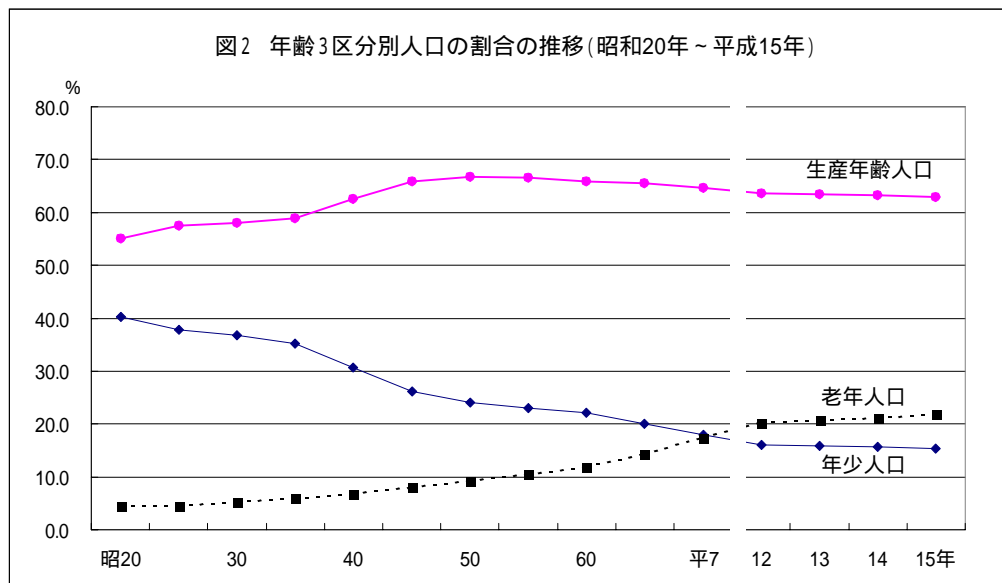
年齢が下がるほど少ないこどもの数

こどもの数を各年齢別にみると、14歳が25,384人と最も多く、全体的に低年齢化するにつれて少なくなる傾向にある。



低下を続けるこどもの数の割合

県人口に占めるこどもの数（年少人口）の割合は、昭和20年までは40%前後で推移してきたが、それ以後は出生数の減少傾向を反映し、低下を続けている。その結果、平成8年には年少人口（0～14歳）と老年人口（65歳以上）の割合が逆転し、老年人口が年少人口を上回ることとなった。



(注) 平成12年以前は国勢調査による各年10月1日現在の数値、平成13年以後は福島県現住人口調査による各年4月1日現在の数値。

表2 年齢3区分別人口の推移(大正9年～平成15年) (単位: 人、%)

年次	総人口	年少人口 (0～14歳)	総人口に占める割合		
			年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
大正9年	1,362,750	528,818	38.8	56.4	4.8
14年	1,437,596	575,325	40.0	55.4	4.6
昭和5年	1,508,150	614,170	40.7	54.9	4.4
10年	1,581,563	651,195	41.2	54.4	4.5
15年	1,625,521	658,598	40.5	54.9	4.6
20年	1,957,356	787,620	40.2	55.2	4.6
25年	2,062,394	780,838	37.9	57.6	4.6
30年	2,095,237	771,329	36.8	58.0	5.1
35年	2,051,137	720,721	35.1	58.9	5.9
40年	1,983,754	608,959	30.7	62.5	6.8
45年	1,946,077	508,172	26.1	65.9	8.0
50年	1,970,616	473,903	24.0	66.8	9.2
55年	2,035,272	466,840	22.9	66.6	10.5
60年	2,080,304	460,767	22.1	65.9	11.9
平成2年	2,104,088	422,064	20.1	65.5	14.3
7年	2,133,592	381,511	17.9	64.7	17.4
8年	2,130,018	377,272	17.7	64.5	17.8
12年	2,126,935	341,038	16.0	63.6	20.3
13年	2,121,619	337,068	15.9	63.4	20.7
14年	2,117,551	330,037	15.6	63.3	21.1
15年	2,111,866	323,734	15.3	63.0	21.7

(注) 平成7年以前及び平成12年は国勢調査による各年10月1日現在の数値、その他の年は福島県現住人口調査による各年4月1日現在の数値。

こどもの数の割合は西郷村が最高

総人口に占めるこどもの数の割合を市町村別にみると、最も高いのは西郷村で17.64%、以下、中島村(17.56%)、白沢村(17.47%)と続いている。

一方、こどもの数の割合が最も低いのは昭和村で7.98%となっている。

表3 こどもの数の割合の高い市町村(平成15年4月1日現在)

(単位:人、%)

順位	上位5市町村				下位5市町村			
	市町村名	こどもの割合	こどもの数 (年少人口)	総人口	市町村名	こどもの割合	こどもの数 (年少人口)	総人口
1	西郷村	17.64	3,359	19,042	昭和村	7.98	141	1,766
2	中島村	17.56	935	5,324	金山町	8.14	248	3,045
3	白沢村	17.47	1,607	9,200	三島町	10.10	239	2,367
4	鏡石町	16.67	2,113	12,679	山都町	11.41	474	4,156
5	檜葉町	16.62	1,375	8,271	只見町	11.42	622	5,447

図3 市町村別こどもの数の割合(平成15年4月1日現在)

